

エコライフ・フェア 2018

「湿地の恵み展～都市と湿地～」

活動報告書



2018年6月

発行：「湿地の恵み展～都市と湿地～」実行委員会

【概要】

2018年6月2日（土）～3日（日）に代々木公園 ケヤキ並木及びイベント広場（東京・渋谷）で開催された、エコライフ・フェア 2018 に「湿地の恵み展～都市と湿地～」ブースを出展しました。エコライフ・フェア 2018 全体の来場者数は、2日間でのべ43,347名（1日目：晴れ 20,483、2日目：晴れ 22,864）でした。

湿地の恵み展ブースでは、ラムサール条約登録湿地のある自治体、湿地保全に係る団体等の担当者が、来場者に対して、各地域の取り組みや湿地の魅力、湿地の価値や保全の重要性などを伝えました。また、お米などの湿地の恵み、湿地に関係のあるオリジナルグッズなどの販売やミニヨシズづくり体験を行いました。湿地の恵み展実行委員会企画『しめっち投票』も併せて実施し、来場者に、日本国内の50のラムサール条約登録湿地のうち、行ったことがある湿地（何箇所でも）、行ってみたい湿地（一箇所のみ）を投票してもらいました（総投票数：943票）。2018年10月に開催されるラムサール条約第13回締約国会議にあわせ（テーマ：Urban wetlands）、東京湾を中心とした都市の湿地紹介コーナーを設置しました。現在、ラムサール条約への湿地登録を目指している東京都「葛西海浜公園（葛西三枚洲）」と宮城県南三陸町「志津川湾」の紹介もしました。

6月3日には中川環境大臣が湿地の恵み展を視察されました。その際に、湿地の保全と賢明な利用のためには、行政とNGOなど多様な主体が協働していくことが大切であるということと、日本国内、そして都市の近くにも貴重な湿地が存在しているということをお伝えしました。イベントの開催期間中は、各湿地の担当者同士が情報交換をする貴重な機会となりました。

湿地の恵み展 参加自治体・団体

	条約湿地名	参加団体名
当日参加	1 サロベツ原野	サロベツ・エコ・ネットワーク
	2 蕪栗沼・周辺水田	宮城県大崎市
	3 化女沼	宮城県大崎市
	4 渡良瀬遊水地	栃木県栃木市
	5 渡良瀬遊水地	栃木県小山市
	6 東海丘陵湧水湿地群	豊田市自然観察の森（日本野鳥の会・豊田市）
	7 円山川下流域・周辺水田	兵庫県豊岡市
	8 ー	東京都港湾局
	9 ー	日本野鳥の会東京
資料提供	10 北海道内の登録湿地	北海道ラムサールネットワーク、公益財団法人北海道環境財団
	11 クッチャロ湖	北海道浜頓別町
	12 瀧沸湖	瀧沸湖水鳥・湿地センター
	13 雨竜沼湿原	雨竜沼湿原を愛する会
	14 釧路湿原	北海道釧路市、釧路国際ウェットランドセンター
	15 大沼	大沼ラムサール協議会
	16 谷津干潟	千葉県習志野市、谷津干潟自然観察センター
	17 佐潟	新潟県新潟市、佐潟水鳥・湿地センター
	18 立山弥陀ヶ原・大日平	富山県立山町
	19 中池見湿地	福井県敦賀市
	20 琵琶湖	滋賀県長浜市
	21 中海	鳥根県松江市
	22 宍道湖	鳥根県松江市
	23 東よか干潟	佐賀県佐賀市
	24 荒尾干潟	熊本県荒尾市
	25 ー	宮城県南三陸町
	26 ー	東京湾の窓PT
	27 ー	・大森 海苔のふるさと館
	28 ー	・千葉県立中央博物館
29 ー	・行徳野鳥観察舎友の会	
実行委員会	ラムサール条約登録湿地関係市町村会議、ラムサールセンター、ユースラムサールジャパン、日本国際湿地保全連合（事務局）	
協力	環境省自然環境局野生生物課	

【湿地の紹介、恵みの展示・販売】

今年は 50 箇所の登録湿地のうち 20 湿地・24 団体が湿地の恵み展に参加しました。登録湿地以外からも 12 団体（実行委員会含む）が参加しました。

当日は、サロベツ原野、蕪栗沼・周辺水田、化女沼、渡良瀬遊水地、東海丘陵湧水湿地群、円山川下流域・周辺水田の自治体担当者や NGO メンバーと、現在ラムサール条約への湿地登録を目指している葛西海浜公園（葛西三枚洲）などの関係者約 40 名がブース内での活動に参加し、来場者に対して各湿地の取り組みや恵みを紹介しました。また、ブースのテーマでもある「都市と湿地」にあわせ、東京湾周辺の湿地を紹介しました。各湿地の担当者が直接説明することで、来場者の湿地に対する興味・関心を高め、湿地の保全に向けた普及啓発をすることができました。

また、イベントを通じて、全国各地の湿地関係者が集まり、地域での取り組みや課題などの情報を交換することができ、今後、湿地間で連携して、湿地の保全、賢明な利用を促進していくためのきっかけづくりの場となりました。



ブースの外観



ブース内の様子



中川環境大臣の視察の様子



湿地の恵み展参加者 集合写真（2日目）

【ポスター・パンフレット展示】

ラムサール条約登録湿地を紹介するパンフレット、地域の観光案内などのパンフレットを展示・配布しました。過去に提供いただいた資料も含め、約 50 種類のパンフレット・チラシを展示し来場者が自由に持ち帰りできるようにしました。また、担当者派遣のあった自治体を中心にポスターの展示を行いました。

（写真） 各湿地のパンフレット



【体験プログラム】



ワークスペースにて、渡良瀬遊水地のある栃木県小山市、栃木市による、ミニヨシズづくり体験を行いました。子どもから大人まで、2日間で約50組の方が参加し、体験を通して湿地の植物や伝統文化について知ってもらうことができました。（写真）ミニヨシズ作り体験の様子

【しめっち投票】

来場者に湿地や国内のラムサール条約登録湿地について知ってもらうために、「おしえて!! あなたの好きな しめっち（湿地）」と題して、国内のラムサール条約登録湿地50箇所へ投票してもらうコーナーを設置しました。行ったことがある湿地、行ってみたい湿地についてそれぞれ投票してもらいました。2日間の総投票数は943票でした。

（写真）しめっち投票の様子



しめっち投票 ランキング（上位のみ）

行ったことがある湿地		行ってみたい湿地	
1位	琵琶湖(40票)	1位	阿寒湖(12票)
2位	釧路湿原(38票)	2位	秋吉台地下水系(9票)
	奥日光の湿原(38票)		慶良間諸島海域(9票)
4位	渡良瀬遊水地(37票)	4位	釧路湿原(6票)
5位	尾瀬(33票)		雨竜沼湿原(6票)
			久米島の溪流・湿地(6票)

【交流会】

1日目（6月2日）の夜に参加者の交流会を渋谷区勤労福祉会館にて開催しました。自治体、団体、実行委員会、ボランティアスタッフなど26名が参加し、全国各地の湿地関係者が交流するよい機会となりました。交流会では、参加団体から提供いただいた湿地の恵みであるお酒や食品の試飲・試食も行い、持参した湿地の恵みの魅力などを語っていただきました。



湿地の恵みを持って集合写真



湿地の恵み（日本酒・焼酎・菓子）